

神経精神科



診療科紹介 HP

ご挨拶

精神障害には「疾患的なもの」と「疾患的ではないもの」があります。その見極めは簡単ではありませんが、患者さんの苦悩に心を寄せ共感し、支える姿勢を重視しています。その上で薬物療法を行うかどうかの判断をするように心がけております。



診療部長
古茶 大樹（主任教授）

診療科の特色

一般外来は幅広く対応していますが、薬物依存症については扱っておりません。一般外来の他に、児童思春期の発達障害症例やこころの問題への対応、認知症を中心とする老年期精神障害、統合失調症の持効性注射剤の導入などの専門外来があります。認知行動療法についても積極的に導入しています。病棟は全閉鎖の31床あり、mECTやrTMS治療が可能です。難治性統合失調症に対するクロザピンの導入も行っています。有料個室はストレス状況から離れ、自分を見つめ直し再スタートするのに良い環境となっております。

患者さんのご紹介について

 聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

 044-977-8111（代表）

紹介受付時間：平日 8：30～15：00
土曜 8：30～11：00

 044-975-0608

医療機関からのWEB予約サイトはこちら

  聖マリアンナ医科大学病院
患者さんの紹介について

お問い合わせ先：メディカルサポートセンター



神経精神科の初診につきましては、

完全予約制となっております。

専門・特殊外来のお知らせ

○児童思春期専門外来

15歳以下の児童思春期の発達障害の診療や、児童思春期のこころの問題に対する支援を行っています。原則15歳以下の児童思春期期の発達障害を中心に診療を致しますが、その他の児童思春期に好発する疾患および病態についても可能な範囲で対応します。

治療の主に対象となる疾患

- ・ 注意欠如多動性障害（ADHD）
- ・ 自閉スペクトラム症
- ・ 学習障害 チック症
- ・ 小児心身症 など

対象となる病態

- ・ 不登校
- ・ 抑うつ
- ・ 反抗傾向
- ・ 不眠
- ・ かんしゃく
- ・ 過眠
- ・ 情緒不安定
- ・ 自傷

○高齢者専門外来

認知症の鑑別診断や、高齢者（65歳以上）の行動・心理症状への対応を行っています。また、認知症のご相談のほかにも、不安症やうつ病等の各疾患・病態について可能な範囲で対応致します。

○緩和ケア外来

がんなどの病気の症状や治療に伴う精神的およびその他の苦痛の軽減を図り、治療の継続を支援致します。

○MEET外来

Marianna Early detection and Early Treatment（MEET）は、統合失調症治療センターの特殊外来の一つです。本外来では、思春期～青年期における早期発見・早期治療から予防に取り組んでいます。

○MILAI外来

持続性注射剤LAI（Long Acting Injection）は、統合失調症に対する薬物療法の一つです。LAIの種類によって異なりますが、月1～2回または3ヶ月に1回の注射で、毎日の服薬と同等の治療効果が期待されています。当外来では、LAIの導入検討を目的とした包括的評価と支援を行っています。